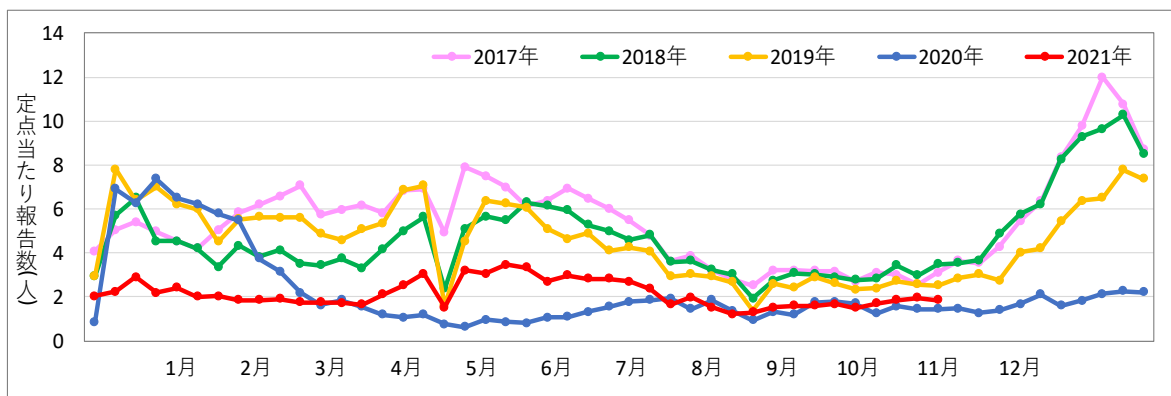




ノロウイルスに気をつけて！

感染性胃腸炎の定点当たり報告数(神奈川県)

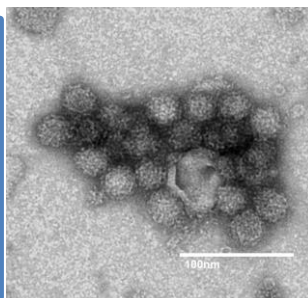


例年冬季に報告数の増加がみられます。昨シーズンは新型コロナ対策等もあり、増加を認めませんでした。2021年第42週(10月18日～10月24日)現在、報告数は横ばいです。今後の発生動向に注意しましょう

冬期の感染性胃腸炎



- ・毎年冬期を中心に感染性胃腸炎が流行します。その代表的な原因ウイルスが、「ノロウイルス」です。
- ・ノロウイルスは、感染力が非常に強いことが特徴です。



ノロウイルス電子顕微鏡写真
(撮影:神奈川県衛生研究所 微生物部)

主な症状

- ・潜伏期間は1～2日で、主な症状は突発的な激しい吐き気や噴水状のおう吐、水様性の下痢、腹痛、発熱です。
- ・通常は1～2日で症状は治まりますが、乳幼児や高齢者のほか、免疫力の低下した人では重症化することもあります。

感染経路

- ・ウイルスに汚染されたカキなどの二枚貝を生や加熱不足で食べる。
- ・ウイルス感染者が調理した食べ物や触れた調理器具を介して感染する。
- ・感染者の便やおう吐物に触れた手指についたウイルスが口に入る。

治療

ノロウイルスには、特効薬やワクチンがありません。発症した場合、水分と栄養補給による対症療法が行われ、脱水と体力消耗を防ぎながら、回復を待ちます。

※大切なことは、感染しないように予防することです。

予防対策

①手洗い

・食事前、トイレの後、外出から戻った際など、流水と石けんで丁寧に手を洗いましょう。

②適切な汚物の処理

- ・感染者の便やおう吐物は「次亜塩素酸ナトリウム」を用いた消毒処理をしましょう。アルコールはノロウイルスの消毒には効果不十分です。
- ・処理をする際は、手袋、マスク、ガウンを着用しましょう。
- ・処理後、手洗いをしっかりしましょう。

③加熱殺菌

ノロウイルスは、十分な加熱(85～90℃、90秒以上)により感染性がなくなります。調理器具の洗浄、消毒も大切です。

ていねいな手洗い方法

1.十分にせっけんを泡立てます

2.手のひらを合わせよくこする



3.手の甲を伸ばすようにこする



4.指先、爪の間を入念にこする



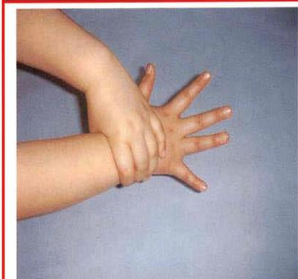
5.指の間を十分に洗う



6.親指のまわりもよく洗う



7.手首も忘れずに洗う



8.流水でよく洗い流します

9.使い捨ての紙または乾いた清潔なタオルでしっかり拭き取りかわかします

